

## 目次

はじめに

序 論――東西二元論を越えて

第Ⅰ章 忘れられた作家シートン

一 『動物記』とアメリカ

二 「人種再生」のビジョン

三 日本科学の精神と『動物記』

四 孤高の人々――平岩とシートンの動物観

第Ⅱ章 ある写真家の死――写真家・星野道夫の軌跡

一 Michio の死とその周辺

二 原野をめぐる言説

三 星野が見た「アラスカ」

第Ⅲ章 快樂としての動物保護――イルカをめぐる現代的な神話

一 なぜイルカなのか

二 イメージの系譜学

三 人種階層と動物保護

四 宇宙を泳ぐイルカ

五 再び『ザ・コーヴ』へ

おわりに

注

文献一覧

初出一覧